

仙台市社会福祉大会 60回のあゆみ

年	回	社会福祉大会の内容	当時の社会情勢
昭和41年 1966年	1	仙台市公会堂（現 仙台市民会館）で開催。 （主催）仙台市社会福祉協議会、宮城県共同募金会仙台市支会、仙台市老人クラブ連合会、宮城県身体障害者福祉協会仙台市支会、仙台市精神薄弱児者育成会、（後援）仙台市仙台市長及び各団体長から表彰状及び感謝状を贈呈し、社会福祉の発展に特に功労のあった方々の功績を深く讃えるとともに、諸団体の課題と日頃の活動の成果を発表。	
昭和42年 1967年	2	民生委員制度50周年記念として開催	公害対策基本法公布
昭和43年 1968年	3		国民総生産（GNP）世界第2位に
昭和44年 1969年	4		
昭和45年 1970年	5		大阪万博開催
昭和46年 1971年	6	仙台市公会堂の取壊しのため、仙台市役所本庁舎8階ホールにて開催。 表彰式典及び「老人と地域社会」と題しての記念講演が行われた。	非核三原則が国会で採択
昭和47年 1972年	7	各主催団体の代表による意見発表が行われ、13項目の決議案が採択された。	沖縄返還、日中国交正常化、札幌冬季オリンピック開催
昭和48年 1973年	8	仙台市公会堂跡地に新設された仙台市民会館大ホールにて開催。民生委員による体験発表及び各主催団体の代表による意見発表が行われ、18項目の決議案が採択された。	石油危機（オイルショック）
昭和49年 1974年	9	民生委員による体験発表及び各主催団体の代表による意見発表が行われ、23項目の決議案が採択された。	
昭和50年 1975年	10	「福祉は心から」をスローガンに掲げて開催。市民会館が使用できず、仙台市レジャーセンターで開催。各主催団体の代表による意見発表が行われ、24項目の決議案が採択された。	
昭和51年 1976年	11	共同募金運動30回記念及び社会福祉事業法制定25周年記念として開催。 各主催団体の代表による意見発表が行われた。	
昭和52年 1977年	12	民生委員制度創設60周年記念として、仙台市民生児童委員会が共催に加わり、仙台市民生児童委員長から表彰。 各主催団体の代表による意見発表が行われ、28項目の決議案が採択された。	
昭和53年 1978年	13	地区社会福祉協議会結成10周年記念及び老人福祉法制定15周年記念として開催。 各主催団体の代表による意見発表が行われ、21項目の決議案が採択された。	日中平和友好条約調印
昭和54年 1979年	14	主催に仙台市母子福祉会と仙台市里親会、後援に仙台市民生児童委員会が加わる。 国連での児童の権利宣言採択から20年を迎える国際児童年記念として開催。 各主催団体の代表による意見発表が行われ、24項目の決議案が採択された。	
昭和55年 1980年	15	8人の発表者による活動発表、施設利用者によるアトラクション（パトントワリング）が行われた。	
昭和56年 1981年	16	国際障害者年記念として「完全参加と平等」をテーマに掲げ、国際障害者年日本推進協議会から小島蓉子氏を講師に迎え「国際障害者年の意義」と題した講演と映画「ぼくらは生きる」を上映。	
昭和57年 1982年	17	共同募金運動35周年及び仙台市老人クラブ連合会設立20周年記念として開催。 講演に加え、映画「私たちも働きたい」を上映。	国際障害者年
昭和58年 1983年	18	市町村社会福祉協議会法制化記念、社会福祉協議会結成15周年記念及び老人福祉法制定20周年記念として開催。主催を仙台市社会福祉協議会とし、これまで主催となっていた他の6団体は共催となる。講演に加え、映画「町で障害のある人に出会ったら」を上映。	市町村社会福祉協議会法制化
昭和59年 1984年	19	河北新報社会長の一カー夫氏の講演、映画「もうひとつのむかしばなし」を上映。	
昭和60年 1985年	20	仙台市老人クラブ連合会が共催から後援となる。 仙台市が「福祉ボランティアのまちづくり事業」の指定を受け、仙台市ボランティア連絡協議会が後援に加わる。ボランティア活動に関する講演と映画を上映。	プラザ合意（円高が加速）
昭和61年 1986年	21	「市民総参加のもと、ボランティアの輪をひろげ、福祉活動の活性化をはかろう!!」をテーマとして開催。仙台市民生児童委員会、仙台市老人クラブ連合会、赤十字奉仕団仙台市地区委員会が後援に加わる。	男女雇用機会均等法施行
昭和62年 1987年	22	共同募金運動創始40周年記念として開催。 「ボランティアの輪をひろげ、福祉活動の活性化をはかるために」をテーマに福祉座談会を実施。	
昭和63年 1988年	23	地区社会福祉協議会結成20周年記念及び老人福祉法制定25周年記念として開催。 「私の考える福祉」と題して、5名の発表者が、それぞれの立場から意見を発表。	
平成元年 1989年	24	市制施行100周年・政令指定都市移行記念として開催。	昭和天皇崩御、平成に改元、消費税実施（3%）、ゴールドプラン策定
平成2年 1990年	25	「市民総参加による地域福祉活動を推進しよう」をテーマに開催。	
平成3年 1991年	26	仙台市社会福祉協議会設立40周年記念として開催。	バブル経済崩壊、牛肉・オレンジの輸入自由化
平成4年 1992年	27	各区社会福祉協議会が共催となる。	国際平和協力法（PKO協力法）成立
平成5年 1993年	28	老人福祉法施行30周年記念、老人保健法施行10周年記念及び地区社会福祉協議会結成25周年記念として開催。	非自民八党派による連立政権誕生
平成6年 1994年	29		新ゴールドプラン策定、エンゼルプラン策定
平成7年 1995年	30		阪神・淡路大震災（最大震度6）、地下鉄サリン事件、沖縄米軍基地問題
平成8年 1996年	31		
平成9年 1997年	32		京都議定書
平成10年 1998年	33		特定非営利活動促進法が成立、長野冬季オリンピック開催
平成11年 1999年	34		
平成12年 2000年	35	青葉区社会福祉協議会宮城支部が共催となる 記念講演は、俳優の財津一郎氏による「唄が支えた謝々（シェーシェー）人生」。	社会福祉法施行 介護保険法施行
平成13年 2001年	36	記念講演は、俳優の高橋元太郎氏による「“うっかり八兵衛”のボランティア漫遊記」。	厚生労働省発足
平成14年 2002年	37		日朝平壤宣言
平成15年 2003年	38		支援費制度施行
平成16年 2004年	39		自衛隊イラク派遣、新潟・福島豪雨、新潟中越地震（最大震度7）
平成17年 2005年	40	仙台市町内会長連合会が後援となる。	郵政民営化法成立、個人情報保護法施行
平成18年 2006年	41	仙台市が後援から共催となる。	障害者自立支援法施行
平成19年 2007年	42	「地域のネットワークを活かし地域福祉活動を推進しよう」をテーマに、関係団体の連携を強め、福祉課題の解決に取り組むことを主旨として開催。	新潟県中越沖地震（最大震度6強）
平成20年 2008年	43	仙台市民会館が耐震工事のため使用できず、東京エレクトロンホール宮城（宮城県民会館）にて開催。	岩手・宮城内陸地震（最大震度6強）
平成21年 2009年	44	「地域の力を育みながら、誰もが安心して暮らせる地域福祉を推進しよう」をテーマに、共助の精神に基づく「支え合い」による社会福祉の推進を主旨として開催。 主催が、仙台市社会福祉協議会、仙台市共同募金委員会、仙台市身体障害者福祉協会（現・仙台市障害者福祉協会）及び仙台市手をつなぐ育成会の4団体となる。	裁判員制度開始
平成22年 2010年	45		民主党、社民党、国民新党による連立内閣
平成23年 2011年	46	3月に発生した東日本大震災の影響から仙台市民会館が使用できず、仙台サンプラザを会場として開催。 「共助の精神に基づく支え合いにより、誰もが安心して暮らせる地域福祉を推進しよう」をテーマとした。	東日本大震災（最大震度7）、東京電力福島第一原発事故
平成24年 2012年	47	「支え合いの力で、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進しよう」をテーマに開催。	尖閣諸島・竹島問題
平成25年 2013年	48		障害者総合支援法施行
平成26年 2014年	49		消費税8%
平成27年 2015年	50		集団的自衛権の行使を認める
平成28年 2016年	51	平成28年台風10号により大会は中止。表彰状・感謝状は郵送で被表彰者に届けられた。	熊本地震（最大震度7）、障害者差別解消法施行、成年後見制度の利用の促進に関する法律施行
平成29年 2017年	52	「一人ひとりの市民が、その人らしく地域で安心していきいきと暮らせる福祉のまちづくり」をテーマに開催。 記念講演は、前年度中止により登壇が叶わなかった大坂純氏（東北こども福祉専門学院 副学院長）を講師に迎えた。	民生委員制度創設100周年
平成30年 2018年	53		
令和元年 2019年	54		令和に改元、消費税10%に
令和2年 2020年	55	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、各種イベントが軒並み中止される中、感染防止対策やソーシャルディスタンスを徹底しながら大会を開催。 記念講演には、賀来満夫氏（東北医科薬科大学医学部感染症学教室特任教授）を招き、新型コロナウイルス感染症について講演いただいた。	新型コロナウイルス感染症の世界的な流行
令和3年 2021年	56	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言があり、大会は中止。表彰状・感謝状は郵送で被表彰者に届けられた。	東京オリンピック・パラリンピック開催
令和4年 2022年	57	「ともに生き、支えあうまち～誰もが互いに尊重し合い、孤立することなく、自分らしく安心して暮らせる地域をみんなでつくる～」をテーマに開催。記念講演は、前年度中止により登壇が叶わなかった阿部憲子氏（南三陸ホテル観洋 女将）を講師に迎えた。	ロシア軍、ウクライナ侵攻
令和5年 2023年	58		侍ジャパン世界一、パレスチナ・イスラエル戦争
令和6年 2024年	59		能登半島地震（最大震度7）
令和7年 2025年	60	記念講演は、令和7年4月に「せんだいメディアテーク」の館長に就任したロバート キャンベル氏（日本文学研究者・早稲田大学特命教授）を講師に迎える。	大阪・関西万博